

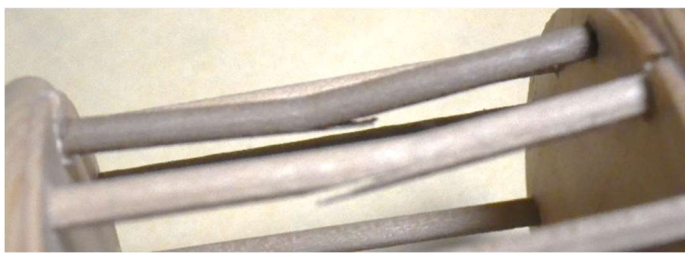
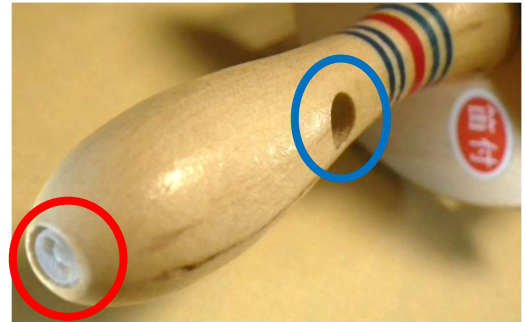
木のガラガラ

ゆきや 2021.04.08



赤ちゃん用の木のガラガラです。
12本の縦棧に囲まれた中に、木のボール、鈴などが入っていて、振ると賑やかな音がします。問題は、縦棧の丸棒の内、2本が折れている事です。

また、手に持つ握りには鳴き笛（赤丸）が仕込まれていて、先端を吹くとピーピー泣く筈でしたが、これも壊れて鳴りません。
音は握りの穴（青丸）から出る筈です。



まず丸棒の修理です。
棒は上下の円盤にしっかり挟み込まれ、接着されています。
ゆっくり揺らして、接着を外しながら、2本を抜き取りました。



穴の直径は3ミリφです。
上と下に円盤があって動かす事は出来ず、このままでは、丸棒は入れられません。

仕方なく下の円盤に穴を開け、丸棒を通すことにしました。
ちょうど手持ちの焼き鳥の太い串が使いそうです。
角型の串なので、カッターで角を削りました。



写真は底面から見た所です。
2本の串を下から通しました。

問題は接着です。

赤ちゃんがしゃぶったりする事もありますから、
化学接着剤は使う訳に行きません。

小麦の成分の物もアレルギーの心配があります。
そこで、ご飯粒に水を加えてすり潰してみました。
これなら心配ないでしょう。

続飯（そくい）という糊で、古くから使われて来た
ものだそうです。

底板の欠けた部分にも、薄めて詰めておきました。



握りの部分の鳴き笛も交換して、ピーピー、ガラガラと賑やかに鳴るようになりました。

